

2 令和3年度 学科別の重点取組事項

(1) 園芸学科

近年の農業を取り巻く情勢から、特に、①GAP（適正農業規範）による適切な農場管理に関する学習、②経営安定の資となる新技術・新品目に関する学修、③多様な販路に応じた実践的な流通販売学修、④校外実習を通じた地域交流・貢献活動に重点を置いた学修を行う。

ア GAP（適正農業規範）による適切な農場管理に関する学修

JGAPの「農場管理点と適合基準」をもとに農場運営、食品安全、環境保全、労働安全、人権・福祉に関する適切な農場管理の必要性や手法を実習等を通じて指導を行う。

イ 経営安定の資となる技術・品目に関する学修

現下の経営環境等を踏まえ、省力化・環境制御・機械化技術、早期成園化技術、低コスト生産技術、減農薬栽培技術、販路に応じた新品種・オリジナル品目等の栽培技術の導入・定着・検証・評価を行う。

(ア) 野菜

- ・太陽光エネルギー利用蓄熱式イチゴ省エネ栽培システムの実証
- ・多層被覆資材(布団資材)による省エネ技術と周年活用の実証
- ・イチゴの推進品種(かおり野)の安定生産を目指した草勢管理技術の検討
- ・フォアス(地下灌漑システム)を活用した土地利用型野菜の栽培実証

(イ) 花き

- ・県オリジナル品目(リンドウ「西京の初夏」他)をはじめとする花きの高品質栽培の実証
- ・県オリジナルユリ「プチシリーズ」の栽培技術の確立
- ・無加温・露地栽培等による低コスト生産品目の導入検証(キク、ストック等)

(ウ) 果樹

- ・温州みかんの高糖度化に向けたスマートマルドリ技術の導入
- ・ブドウ及び柑橘の長期貯蔵技術の検討
- ・ナシの溶液受粉による省力化技術の導入

ウ 多様な販路に応じた実践的な流通販売学修

これまでの取り組みを踏まえ、生産と販売が直結したより効果的な流通販売学修とするため、詳細な生産・出荷計画の策定と事前の企画調整の強化など質的な充実を図る。

(ア) 市場流通

計画生産の推進と卸売市場との連携強化(プレゼンテーション及び情報交換)

(イ) 直接販売(常設販売)

周南市道の駅「ソレーネ周南」、JA防府とくち農産物直売所「とれたて満菜」、幸せますステーション「スマイルほうふ」への計画出荷と直売向け作物等の提案

(ウ) 対面販売(2回/月)

防府市まちな駅「うめてらす」、周南市道の駅「ソレーネ周南」での対面販売の充実

(エ) 催事販売

地元催事等での対面販売の実施(アジサイ祭り、防府市農林水産業まつり等)

(オ) 業務販売

土地利用型野菜の計画的な業務用販売の定着(山口農協直販等系統販売)

エ 校外実習を通じた地域交流・貢献活動

校外での各種社会活動に積極的に参加し、多様な人との交流を深め、コミュニケーション力の向上や地域貢献、将来の進路選定等に資する。

- (ア) 農業法人との連携による大規模野菜機械化栽培、普通作物栽培の実習強化
- (イ) 短期・長期派遣研修を活用した地域交流と円滑な就農・就業の推進
- (ウ) 地元小・中学校等への食育・花育支援

(2) 畜産学科

ア 経営の基本となる乳・肉生産技術の習得

- (ア) 哺育・育成技術の習得
 - ・高タンパク質・低脂肪の代用乳を用いた強化哺育と、離乳後タンパク質を強化した飼料を給与する育成プログラムを実践する。
 - ・初産分娩月齢24か月未満を目標とし、生涯生産量の増強を図る。
- (イ) 家畜人工授精技術の習得
 - ・1年次に家畜人工授精師免許を取得する。
 - ・2年次に発情確認や授精技術の鍛錬を実施する。
 - ・育種価評価等を用いた交配計画を作成する。
- (ウ) 生産目標を設定したプロジェクト学修
 - ・毎年、乳肉の目標生産量を設定し、生産計画を樹立する。
 - ・生産実績から目標生産量の達成度を確認する。

イ 自給飼料生産技術と低投資型経営の実践

- (ア) 大型機械を用いた自給飼料生産
 - ・1年次に大型特殊及びけん引自動車免許の取得及び機械の操作方法を学修する。
 - ・2年次にロールラップサイレージの調製及び利用体系を実践する。
 - ・飼料用イネWC Sの生産から飼料給与までの栽培・利用体系を学修する。
 - ・春夏作物や秋冬作物の作付けを学修する。
 - ・生産した粗飼料の栄養価分析及び給与計画を学修する。
- (イ) 山口型放牧の実践と活用
 - ・山口型放牧の牧柵等設置方法や牛の馴致方法を学修する。
 - ・耕作放棄地対策としての放牧の利点を学修する。
 - ・放牧を用いた肉用牛経営の実践目標を策定する。
 - ・放牧を取り入れた肉用牛経営の成績を取りまとめ、その利点や欠点を確認する。

ウ JGAP（農場HACCP）の推進

畜産版JGAP認証に向けて、前段である農場HACCP認証のため、各専攻の生産作業工程及び衛生作業工程の整理及び検証に取り組む。

エ スマート農業の推進

ファームノートによる牛群管理方法や最先端の作業機械等の操作方法を修得し、農作業の効率化や労働生産性の向上に取り組む。